

【本校において目指す生徒像】

- ①学びの楽しさを知り、自ら進んで学び、自己実現に向けて必要な学力を獲得できる生徒。
- ②協働学習をとおして互いに高め合いながら、物事について深く考えることができる生徒。

【学習指導方針（スクールポリシー）】

（１）魅力ある教材により、生徒の学習意欲や興味関心を育て、学習態度を確立させる。

動機付けとなる導入教材、イメージを明確にする視聴覚教材、学問の面白さや有用性が感じられる教材等を工夫し、普通教室全室に設置されたプロジェクターや書画カメラ等をも効果的に活用して、生徒の学習意欲や興味関心を高め、自ら進んで学ぶ態度を育てる。

（２）「問い」「手立て」「協働的な学習の場作り」の工夫をとおして、論理的思考力や表現力を育む。

思考を促す「問い」や考える「手立て」（結論に至るまでのスモールステップ等）を与え、ペア学習・グループ学習等を利用した協働的な学習の場を作り、課題の解決に向けて探究させる。その活動の中で、根拠をもって話したり、異なる観点を知って考えを深めたり、複数の意見をまとめて伝えたりする力を伸ばす。また、難しい課題であっても投げ出さず、級友と支え合いながら粘り強く考え続ける力を養う。

（３）学力に応じたきめ細かな学習指導を行い、進路志望の実現を支援する。

特進クラスや習熟度別授業といった体制を整え、的確な学習目標のもとで授業を行う。授業を中心に据えた学習習慣を確立させるためにも、予習・復習・週末課題等について、学力に応じた具体的な指示を与えることで家庭学習を充実させる。これらの取組を継続することにより、学力の定着を確かなものにし、進路志望の実現につなげる。